

大阪市障がい者施策推進協議会部会

令和元年度 第1回 大阪市障がい者差別解消支援地域協議部会 議事要旨

日時：令和元年9月17日（火）

午後2時～4時

場所：大阪市役所 地下1階 第11会議室

【議題1 平成30年度第2回障がい者差別解消支援地域協議部会の結果について】

- ・ 昨年作成した電動車いすの啓発パンフレットのように、頻発する差別事案に関する啓発媒体の作成を検討いただきたい。
- ・ 府の条例改正にあたって、府下全域で同じ対応ができることが大切であるので、合理的配慮の義務化や各則規定を設けることなどについて、府に対し積極的に働きかけていただきたい。

【議題2 平成30年度障がい者差別解消にかかる取組状況について】

(個別事案に対する意見)

- ・ 福祉サービスの事業所で精神障がいのある方が嫌がらせを受けたり、ヘルパーが知的障がい者に対して偉そうに指示するのは、心理的虐待にあたる可能性があるので、虐待防止の観点からのチェックも必要である。

【議題3 令和元年度障がい者差別解消にかかる取組方針及び取組状況について】

(個別事案に対する意見)

- ・ バス乗車時の電動車いす転倒事案について、事業者内での研修やマニュアルを徹底するなど、車いす対応をはじめとした障がい者理解を深め、再発防止に努めていただきたい。
- ・ 障がい者に対する入居差別が依然多く発生しているが、宅建事業者や家主、保証会社などに広く啓発していくことが重要であり、障がい者を受け入れることに対する漠然とした不安の解消のためにも、国や府、大阪府が連携して、障がい者の生活について理解してもらえるような啓発媒体を作成するなどし、関係事業者に対し理解を求めていくことが必要である。
- ・ 遊戯施設にかかる事案については、部会委員などが入る事例検討会を開催し、それぞれの事案の問題点を洗い出し、事業者も交えて対話ができるように取り組むべき。

(その他)

- ・ 災害時に、避難行動要支援者名簿を有効に活用して、避難誘導や避難所における支援等が確実なものになるよう、平時から行政・地域・福祉関係者・当事者が連携する仕組みを作って訓練を実施するなど取り組んでいただきたい。

【議題4 その他】

《内閣府政策委員会資料「障がい者に対する『不当な差別的取扱い』に関する主な相談事例」》

《あいサポート運動について》